

[横浜能楽堂]
 平成 30 年度業務報告及び収支決算
 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

- ※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業。○：共催事業
 を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標。■：定性的指標
 を示します。

I 施設の概要

施設名	横浜能楽堂
所在地	横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上2階地下2階建
敷地・延床面積	建築面積 1,770.81㎡ 延床面積 5,695.93㎡
開館日	平成8年6月28日

II 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地
代表者	理事長 近藤 誠一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成29年4月1日から平成34(令和4)年3月31日まで

III 指定管理に係る業務方針

1 基本的な方針の総括

第3期指定管理の経営方針として、「事業」においては『質の高い事業の実施、古典芸能の専門文化施設としてのブランドの確立』『子どもを対象とした事業の強化』を、「運営」においては『新規顧客開拓と利用率の向上』を、「管理」においては『老朽化に対する取組みや利用者ニーズに応じた対応』を掲げました。これらの方針を実現するために「人材の確保と育成」「経営資源の適切な配分と外部資金の活用」を図っています。

第3期2年目を迎えた30年度は、「管理」では業務を確実に実行し、利用者の安全、安心、快適を保持しました。「運営」では、パーティープランや割引制度などを開始し、新規利用者の獲得に注力しました。事業については、鑑賞者の期待に応える公演を開催し、横浜能楽堂の企画力の高さをアピールし、専門施設としての役割を發揮することができた1年となりました。

2 平成 30 年度の業務の方針及び達成目標の総括

<p>【全体業務について】</p> <p>第 3 期指定管理事業計画の提案内容の達成に向けて取組みを進めました。</p> <p>1 施設管理について</p> <p>開館 23 年目を迎え、経年劣化による不具合、故障が発生していますが、早期発見と適切な対応を行いました。防災訓練や修繕記録の整備などのソフト面での対応も合わせ、利用者、来館者、出演者が安全、安心、快適に利用できるよう努めました。</p> <p>2 施設運営について</p> <p>施設の認知度を上げて利用促進を図るため、旅行代理店や会員組織等に積極的に働きかけました。また、近隣マンションへの利用案内の配布、新規および若い世代の利用者を増やすための新たな割引制度の開始、パーティープランの提案ではマンション管理会社顧客組織対象のイベントが実現する等、既に実績が出ています。多様なワークショップの開催や施設見学会（29 回開催）を通じて、能楽堂の魅力を幅広い対象にアピールしました。</p> <p>3 文化事業について</p> <p>能・狂言を中心とした発信性の高い企画公演・特別公演、鑑賞者の裾野を広げる普及公演を開催しました。古典芸能を軸とした国際交流事業として、台湾の伝統芸能と日本舞踊のコラボレーションによる新たな舞台作品を制作しました。また、気鋭の現代美術作家による特別展は 9,000 人近い来館者を集め、若い世代へのアピールの機会となりました。</p> <p>4 収支について</p> <p>年度当初段階で助成金の減額が見込まれたため、自主事業チケットの販売促進、初心者向けワークショップの積極的に広報等に努め事業収入の確保に努めました。また施設利用料金収入についても来館促進ワークショップの実施、貸館利用の各種割引 PR やパーティー利用、撮影料金について広報物の作成等、新たな利用形態を積極的に提案しました。支出内容の精査とも併せ、最終的な通年収支差額は 931 千円のプラスとなりました。</p>
--

IV 業務の取組と達成指標

1 施設管理

(1) 施設及び設備の維持保全及び管理

<p>[目指す成果]</p> <p>業務の基準に従い、日々の保守管理・維持保全に努めます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>業務の基準に従い、日々の保守管理・維持保全を実行しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①文化財（能舞台）の適切な保護</p> <p>②中長期的な視点による総合的な施設（建築物）、建築設備、舞台設備、備品等の保守管理の遂行</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■日々の手入れと点検を実施し、必要に応じて専門業者による管理・メンテナンスを行います。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■横浜市有形文化財の認定を受けた貴重な文化財である能舞台を業務の基準に記されているとおり適切に管理しました。</p> <p>（主な事例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内モニターデジタル化に伴う NHK 受信料契約を非常時受信用 2 台で調整(9 月) ・防災監視盤の老朽化について、運用によ

<p>③清掃、廃棄物処理及び環境への配慮等、植栽管理業務等の環境維持管理業務の実施</p> <p>④駐車場管理業務の実施</p>	<p>■職員および施設管理委託者による毎日の巡回と目視点検により不具合の早期発見に努めます。</p> <p>■施設利用後の速やかな点検の実施</p> <p>■台風・大雨後の巡回点検強化</p> <p>■建物設備管理に起因する過失事故0件</p> <p>□アンケート 快適評価4.0</p>	<p>り公演や施設利用への影響を回避しつつ横浜市施工により設備を置換（2月）</p> <p>■定期的な巡回のほか、利用後の状態確認を職員が行い、不具合発見時は報告書を作成しています。</p> <p>■施設利用後速やかに点検を行いました。職員点検後に警備員が最終巡回を行い、施設等安全確認を徹底しました。</p> <p>■台風・大雨後は速やかに点検し、状況を市に報告しました。</p> <p>■0件</p> <p>業務の基準に示された内容を遵守し適切な管理を行いました。</p> <p>□快適評価 4.53（上半期）</p> <p>来場者全員にアンケート用紙を配布し、協力を求めています。項目は①性別、②年齢、③居住地、④公演情報入手、⑤鑑賞動機、⑥能・狂言の鑑賞回数、⑦今回の公演について、⑧スタッフ対応・サービス、⑨施設の快適性、⑩今後取り組みたい文化活動、⑪意見・希望、の11項目です。</p> <p>（主な事例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを受け公演時は蚊取り器を玄関外に設置（9月） <p>[主なご意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座席の列番号が読みにくい（複数） ・途中入場の扉音、女性のおしゃべり、子供の声、紙のカサカサ音、演目中の飲食、能の台本を高くかかげなど音やマナーに関するご意見(多数) ・酷暑の折、場内での給水程度は許容すべき。 ・有料託児や親子ルーム的な席があると気兼ねなく鑑賞できる。 ・トイレが薄暗くて怖かった（～10歳）。 ・トイレの数が少ない。 ・見所の座席は列ごとに左右にずらして欲しい。 ・施設見学は有料でも良いので、能や狂言
--	--	---

	<p>■環境維持管理に起因する過失事故0件</p> <p>□駐車場の保守点検年2回以上</p> <p>■駐車場および車両に起因する過失事故0件</p> <p>□備品（収蔵庫）管理 害虫駆除年2回以上</p> <p>□植栽管理 年2回以上</p>	<p>のステージをナビゲーター付きで1ステージだけでも見学（体験）したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拍手の仕方などの説明があると嬉しい。 ・レストランの開設が待たれる。 ・玄関前に蚊がたくさんいて閉口した（→以後公演時は蚊取り器を玄関外に設置）。 ・トイレはすべて洋式にしてほしい。 ・これだけの会館でシャワートイレでないのでびっくりしました。 <p>■0件</p> <p>業務の基準に示された内容を遵守し適切な管理を行いました。施設利用後は職員及び清掃員で点検を行い、汚れを発見した場合は迅速に対処し報告書で情報を共有しました。</p> <p>□9/14、3/7 実施</p> <p>業務の基準に基づき適切に管理しました。</p> <p>■0件</p> <p>お車で来館されるお客様がスムーズかつ安全に利用できるよう警備員と協力して対応しました。また、エントランス前は一方通行となっているため、タクシー利用が多い公演時は警備員等による安全確保に努めました。</p> <p>（8/12 アンケートによるお客様の声）</p> <p>「90 才の足が不自由な夫が来させていたためため駐車場や車いすのお世話になりました。ありがとうございました。夫が大変うれしく思ったようです。」</p> <p>□6/11、12/3 実施</p> <p>貴重な装束や能面等の収蔵品をカビや害虫から守るため、業務の基準に基づき温湿度及び塵芥管理と害虫駆除を行いました。</p> <p>□7/17-20、10/16-19、1/16-17 実施</p> <p>除草・剪定・刈込業務及び薬剤散布実施にあたっては、近隣住民と十分な調整のもと行い、市民の憩いの場である掃部山公園をはじめ周辺環境と調和するたたくまいを保つよう管理を行いました。</p>
--	--	--

(2) 小破修繕への取組

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、日常点検を行い問題箇所迅速に対応します。</p> <p>[成果についての振り返り] 業務の基準に従い、日常点検と問題箇所対応を迅速に実施しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>① 日常の管理・毎月の点検における不具合・不調箇所を発見し、早期の小破修繕等の対応</p> <p>② 利用者の安全に関わる事案への最優先対応</p> <p>③ 不具合箇所等の市への報告による情報共有の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ 日常の巡回点検、毎月実施する定期点検の中で不具合・不調箇所の早期発見に努め、部品交換や小破修繕を行います。</p> <p>■ 故障、不具合については速やかに横浜市と共有します。</p> <p>■ 問題箇所については施設管理チームから助言をもらい対応します。</p> <p>■ 修繕を検討すべき不調箇所はモニタリングを通じて横浜市と情報共有と対応・相談を行います</p> <p>■ 利用者の安全に関わる事案については、直ちに横浜市に報告し対応を協議します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■ 経年劣化による不具合は避けられませんが、日常の管理、毎月の点検で、早期発見と適切な対応に努めました。</p> <p>■ モニタリング時に修繕一覧を作成し提出しました。</p> <p>■ 不具合については報告書を作成し、施設管理チームと情報を共有し技術的なアドバイスや他施設の類似事例に基づくアドバイス等を受けました。</p> <p>■ モニタリング時に情報を共有したほか、重要案件については発生後速やかに情報共有しました。</p> <p>(主な事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本舞台一の松破損 (7月) ・ 消防査察指摘事項について (3月) <p>■ 利用者に影響がでるような事案については、報告書を市にメールで送付し情報共有と対応協議を行いました。</p> <p>(主な事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水質検査結果について西保健所打合せ (6月)

(3) 事故防止体制・緊急時(防犯)の対応・感染症対策等衛生管理

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、適切に対応します</p> <p>[成果についての振り返り] 業務の基準に従い、適切に対応しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>① 各種事故等対応マニュアルの運用、整備</p> <p>② 事故防止策、緊急時(防犯)対応</p> <p>③ 感染症対策等衛生管理の方針の策定</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ 各種マニュアルを整備し備え置きします。</p> <p>■ 職員、補助職員、委託業者(清掃員)による施設内巡回等による速やかな対応を行います。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■ 危機管理マニュアルを作成し館内で共有しました。</p> <p>■ 巡回のほか監視カメラ、機器モニタリングにより危険や不審者、要救護者を早期に発見できるよう注意を行いました。また、利用状況に合わせたこまめな施設管理な</p>

④緊急時の連絡体制、防災に対する取組	<p>■緊急連絡網を作成し連絡体制を構築します。</p>	<p>どにより事故防止と防犯に努めました。</p> <p>■館内の緊急連絡網を作成し職員全員が携帯、夜間、休日問わず速やかに報告・連絡・相談できる体制を整えました。本連絡網は市にも提出、情報を共有しました。</p>
--------------------	------------------------------	---

(4) 防災に対する取組

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、適切に対応します</p> <p>[成果についての振り返り] 業務の基準に従い、適切に対応しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①各危機管理マニュアルの整備及びそれに基づく訓練の実施</p> <p>②消防訓練(年2回実施)</p> <p>③指定管理者本部からの情報提供</p> <p>④外国人来場者への案内</p> <p>⑤延命講習の受講</p> <p>⑥汚物処理研修</p> <p>⑦救急時の医療機関への搬送</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>消防訓練(避難誘導訓練を含む) 年2回実施</p> <p><input type="checkbox"/>消防設備の取扱研修 年2回実施</p> <p>■外国人来館者・障がい者の避難誘導を、消防訓練で実施します。</p> <p>■消防訓練をより実際に則した状況で実施します。</p> <p><input type="checkbox"/>普通救命講習1を全職員が受講済とします。</p> <p><input type="checkbox"/>ノロウイルス対応等研修 年1回以上</p> <p>■救急時は救急医療機関を紹介、搬送の手配をします。また、事務室及びチケットブースで近隣の診療所や救急相談センターの情報等を共有します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/>7/20、1/22 実施 危機管理マニュアルに基づいた訓練を行いました。</p> <p><input type="checkbox"/>7/20、1/22、3/6 実施 消防訓練実施時に合わせ、消火器取扱い実習(7/20)、防災監視盤の見方(1/22)、新防災放送設備研修(3/6)を実施しました。</p> <p>■車いすのお客様など障がい者を想定した誘導訓練を行いました。外国人への対応は英語による口頭での案内が想定されません。</p> <p>■より実際に則した状況での「シナリオなき消防訓練」を実施(7、1月)</p> <p><input type="checkbox"/>全職員が受講済 4/1異動者1名が 新規講習を受講(6月)。消防訓練実施時に AED 研修を全職員が受講。</p> <p><input type="checkbox"/>2回。AED・救急救命研修(7/20)、ノロウイルス対応研修(1/22)</p> <p>■救急医療機関紹介、搬送手配実績はありませんでした。西区及び中区の急患診療所、横浜市救急相談センターの情報を共有しました。</p> <p>・貸館主催者に休日医療連絡先提供(7月)</p>

2 施設運営

(1) 能楽等の公演、稽古、創作その他の活動のための施設の提供

<p>[目指す成果]</p> <p>第3期指定管理提案における施設利用率及び利用料金収入の達成に取り組みます</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>施設の認知度を上げ利用促進を図るため、旅行代理店や会員組織等に積極的に働きかけました。利用料金収入は目標未達ですが、前年度比9.4%増となり営業の成果が表れています。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>① 適切な施設の提供、運用</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■開館時間：午前9時～午後10時、受付・チケット販売：午前9時～午後8時、貸館受付：午前9時～午後10時</p> <p>■利用料金の設定：現行の利用料金体系を継続 教育機関の貸館利用については半額減免制度を設けます。</p> <p>■受付方法：横浜市能楽堂条例施行規則に則り、能狂言とそれ以外の古典芸能で受付開始日を変えて受付します。</p> <p>■支払方法：現金、振込、郵便局払込で収受します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■利用者から開館時間前後の利用要望はなく、指標どおりに施設を提供しました。チケット発売日にスタッフを増員するなど適切に対応しました。受付開始日のシフトを工夫するなど、年間を通じてスムーズな運営に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豪雨災害募金箱の設置（7/13-8/13） ・北海道胆振東部地震募金箱の設置（9/22-10/19） ・台風24号の影響により午後6時終了（9/30） ・チケットシステム一括管理研修（3月） <p>■横浜市能楽堂条例及び同施行規則に規定される横浜市内の教育機関のほか、市外・県内外の教育機関の利用を促し、広く次世代にも能楽の普及を図るため、学校教育法に規定する学校等が主催する能、狂言その他古典芸能の事業の実施のため利用する場合は、半額減免を適用しました。教育機関の半額減免制度による学校鑑賞会の利用2件</p> <p>■本舞台について、能・狂言に関する利用受付開始は24か月前の第2日曜日、それ以外は12か月前の第2日曜日とし、能・狂言の優先利用を促しました。</p> <p>■達成指標のとおり実施しました。</p>
<p>② 貸館の利用率が高まる工夫による施設の利用促進</p>	<p>■古典芸能鑑賞会、施設見学会等について学校や旅行代理店にプランを提案します。</p>	<p>■三菱地所レジデンスクラブにプランを提案、能楽師が案内する施設見学会とワークショップのシテ方、狂言方各1回の買取り成立（8月）、応募実績63組105名/定員20名・2回</p>

<p>③新規の利用者を増やすための工夫</p>	<p>□平成 30 年度 アプローチ件数 15 件、商談件数 3 件</p> <p>■利用案内の DM を送付し貸館の周知を行います。</p> <p>□平成 30 年度利用案内 DM 送付 ・過去施設利用者 50 件、近隣住民 2 回/年</p> <p>・横浜能楽堂顧客名簿に基づく個人 3,000 件 ・大学能楽サークル 10 件</p> <p>■初めて割 (25 歳以下の利用者) と応援割 (ワークショップ修了者) の仕組みを整え、広報を始めます。</p>	<p>クラブツーリズム(株)からのオファーで施設見学会を提案、4 回の実施確定→最終的に 6 回実施 (12-1 月、合計 183 人)</p> <p>□アプローチ件数 13 件 (韓国伝統芸能 1 件、日本舞踊 1 件、レセプション利用 3 件、施設見学会 7 件、学校鑑賞会 1 件)、商談件数 4 件 (三菱レジデンスクラブ、クラブツーリズム、コングレ、横浜観光コンベンション・ビューロー)</p> <p>■過去利用者、近隣、友の会、能楽サークルへのアプローチのほか、月間スケジュール「橋がかり」にワークショップや見学会等利用案内を掲載し、広く周知に努めました。</p> <p>□平成 30 年度 利用案内 DM 送付件数 ・過去施設利用者 50 件 横浜観光コンベンション・ビューローに登録の旅行、イベント、情報出版等企業に送付 (11、2 月) ・近隣住民 4 回/年 横濱紅葉坂レジデンス、クオス横浜紅葉丘、グランドメゾン伊勢山に配布 (5、7、9、12 月) ・5,399 件 (4 月 722 件、5 月 730 件、7 月 1,791 件 12 月 2,156 件) ・20 件 (4 月)、10 件 (3 月)</p> <p>■案内送付 (4 月)、友の会向け発送 (5、7 月)、顧客名簿公演案内に同封 (7 月) など周知しました。</p>
<p>④指定期間における利用料金収入、利用率の考え方、利用率の達成</p>	<p>□平成 30 年度利用料金収入 16,200 千円</p> <p>□平成 30 年度施設目標利用率 本舞台 (日) 42% (平成 33 年度 50%)、第二舞台 62%、研修室 1・2 32%、研修室 3・4 48%</p>	<p>□15,742 千円 (前年度比 9.4%増)</p> <p>□平成 30 年度 施設利用率実績 ・本舞台 (日) 44% ・第二舞台 56% ・研修室 1・2 34% ・研修室 3・4 46% (参考) 来館者数 57,672 人</p>
<p>⑤貸館、舞台の適切な運営体制の整備</p>	<p>■開館時の運営体制：1 階 補助職員 3 名以上、事務室 職員 2 名以上</p>	<p>■開館時はエントランス及びチケットブースのある 1 階は補助職員を常時 3 名、事務室職員は常時 2 名以上になるようシフトを調整し貸館に対応しています。</p>

	<p>■本舞台利用時の運営体制：舞台技術者による対応</p> <p>■本舞台における公演・発表会の開催時の運営体制：補助職員2名～4名を増員</p> <p>■事務室の職員全員が貸館に対応できるよう、マニュアルを備え置きます。</p> <p>■貸館の手引きを備え置きし、利用者に施設利用に関する情報をわかりやすく伝えます。</p> <p>■スタッフのノウハウを活用した『利用者サポート』（公演事前準備支援、公演等制作支援、稽古場探し支援）を実施します。</p> <p>■能楽以外のご利用に際し、能舞台に固有の利用についてのサポート、当日支援を貸館チーム中心に行います。</p> <p>■毎月発行の催し物案内広報物「橋がかり」へ本舞台・第二舞台の公演・発表会等の情報を掲載し、貸館催事の広報に協力します。</p>	<p>■本舞台利用時は常時1名を配置し対応しました。</p> <p>■達成指標どおり実施しました。本舞台で公演、発表会を開催する際は、緊急時の避難誘導など安全を確保するため補助職員を適宜増員しました。</p> <p>■マニュアルを全職員で共有しました。</p> <p>■達成指標とおりに実施しました。利用者との打合せにきめ細かく対応し、必要な情報は館内で共有しました。</p> <p>■県立音楽堂アフタヌーンコンサート券売・広報協力（4月）、「大坪喜美雄の会」にカルチャースタッフを配置（有料）（5月）、日本舞踊公演演目相談（5月）、にぎわい座公演（調整5月、実施3月）、「宝生流囃託会全国大会」準備、運営相談（6月）、横浜能楽連盟五流能楽大会能面展示（10、3月）、来年度能楽協会バリアフリー事業への協力（8月-）、レセプション利用下見（10月）、能楽連盟総会・理事会参加（4、6、10、3月）、横浜美術館開館30周年記念セレモニー協力調整（10、3月）、第二舞台落語での利用相談・にぎわい座の紹介（2月）、にぎわい座公演協力（3月）</p> <p>■TBSドラマ「チアダン」（第二舞台）サポート（5月）、万作の会公演番組撮影準備（6月）、展示廊でのラジオ公開収録の相談（9月）、日本舞踊貸館利用者撮影下見（10月）、短編映画「Life Works」（第二舞台）サポート（1月）、落語利用相談・にぎわい座の紹介（2月）、テレビ番組撮影相談（3月）</p> <p>■毎月の発行物に本舞台、第二舞台の公演・発表会について内容・問合せ先を掲載することで貸館催事の広報に協力しました。</p>
--	--	---

<p>⑥要望・苦情への対応、職員における共有</p>	<p>■公演ごとに実施するアンケートを分析し、お客様の要望・苦情を把握し対応します。</p> <p>■アンケート回収率の向上のための工夫を行います。</p> <p>□アンケート回収率 目標 14.5%</p> <p>■必要に応じ財団事務局、横浜市と情報共有します。</p> <p>■クレームについてレポートを作成し職員間で共有します。</p>	<p>■回収したアンケートは迅速に集計し、館内で共有・対応しました。主なご意見はモニタリング時に市にも報告しています。</p> <p>■8/25 開催の施設見学会「虫の音スペシャル」で回答者にポストカード贈呈</p> <p>□全体 26.3% (展示を除く) (WS 除く 16.9%)</p> <p>■報告の必要がある場合は、対応策も含め事務局・横浜市に報告し対応しました。</p> <p>■事象・原因・改善策をまとめたレポートを作成し、全職員で共有しました。</p> <p>公演後のレストラン利用についての要望(4月)、公演中の携帯受信音(6月)、レストラン冷蔵庫設置希望(7月)、オンラインチケット会員登録前に完売表示があるべき(8月)、台風によるチケット払戻(10月)、隣席の笑声等スタッフが注意すべき(10月)、朝薫チケット払戻(12月)、チケット受付の際の職員の対応(1月)、申込み済みチケットに関する問い合わせへの職員の対応(1月)</p>
----------------------------	---	---

(2) 利用促進及びサービスの向上

<p>[目指す成果]</p> <p>新たなプロモーションへの取り組みを継続し、お客様の満足度を高めます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>新規および若い世代の利用促進を図るための施設利用割引制度を開始し、実績が出ています。季節に合わせたお土産品の仕様変更やインターネット環境の整備などで来館者サービスを図りました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①各貸出施設の利用促進に対する取組み及びプロモーション</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■各室について稽古利用ができることを SNS やちらしで周知します。</p> <p>□利用案内 DM 送付(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度 過去施設利用者 50 件、近隣住民 2 回/年 ・横浜能楽堂顧客名簿に基づく個人 3,000 件 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■月間行事予定「橋がかり」やホームページに利用案内を掲載しました。</p> <p>□平成 30 年度 利用案内 DM 送付件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去施設利用者 50 件 横浜コンベンションビューローに登録の旅行、イベント、情報出版等企業に送付(11、2月) ・近隣住民 4 回/年 横濱紅葉坂レジデンス、クオス横浜紅葉丘、グランドメゾン伊勢山に配布(5、7、9、12月) ・5,399 件(4月 722 件、5月 730 件、7月 1,791 件、12月 2,156 件)

	<ul style="list-style-type: none"> ・大学能楽サークル10件 ■ツイッターやWEBページを活用し貸館情報、利用紹介や案内を告知します。 ■フェイスブックの特性を活かし画像や映像といっしょに事業の紹介を行います。 ■WEBサイトのアクセシビリティ化・スマートフォンでのアクセスに対してレスポンス化を実現し、だれでもが快適にアクセスできる環境を整え、持続させます。 ■サイトデザインについて、アクセシビリティを考慮したデザインにします。 ■本舞台の1時間単位での貸出のPR ■WEBページでの施設空き状況の情報提供の検討 ■撮影利用、アフターコンベンション等の利用希望への積極的な対応 ■公演利用者への付加サービスの提供の具体内容検討 ■初めて割(25歳以下の利用者)、応援割(ワークショップ修了者)の検討、実施(再掲) ■2階レストランスペースでの打ち上げ、昼食利用等の提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・20件(4月)、10件(3月) ■利用案内、ホームページで周知しました。 ・各種割引プランをWEBページお知らせ欄に掲示(4月) ■年間を通じてフェイスブック、ツイッターで事業を紹介しました。 ■WEBサイト、スマホサイトを継続して実施しました。 ■WEBサイト、スマホサイトを継続して実施しました。 ■利用案内、ホームページで周知しました。 ■WEBへの情報アップタイミングや手続き、予約システムとの連動など解決すべき課題が多くあるため、引き続き検討を行います。 ■パーティー利用料金案提案(4月)、TBSドラマ「チアダン」(第二舞台)(5月)、万作の会公演番組撮影(7月)、レセプション利用問合せ(8、9、10月)、ラジオ公開収録相談(9月)、撮影利用(第二舞台)(11月)、映画撮影(1月)、能楽体験・鑑賞付パーティープラン6種作成、周知(2月)、テレビ撮影相談(3月) ■達成指標どおり実施しました。 ・貸館公演時のごみ箱(袋有料)について打合せ表で明確化(7月) ■「初めての朝割」「初めてのU25割」「応援割」を開始(5月)。利用実績:「初めての朝割」4件、「応援割」、9件 ■利用概要を確定し(9月末)、職員向けのマニュアルを作成(10月)するとともに、従来の利用者に個別説明を行いました
--	--	--

<p>②お客様からの意見箱の設置及び対応によるサービスの向上</p>	<p>□意見箱の設置 ロビー1箇所、楽屋1箇所</p>	<p>(10月)。旅行、イベント、情報出版等企業に案内を送付しました(50件 11、2月)。能楽体験・鑑賞付パーティープランを6種作成し周知(2月)。 □達成指標どおり実施しました。 [ご意見] ・警備員の対応が素晴らしい。 ・舞台袖のテレビモニターの画像が遅れるのを改善してほしい。 ・横浜能楽堂の企画はとても良い。遠方からでも足を運びたい。これからも続けてほしい。 ・能のビデオを見たい。 ・洗浄機能付きトイレがほしい</p>
<p>③物販サービスの実施</p>	<p>■本舞台利用時にショップの営業を行います。 ■新しいオリジナル商品のお菓子開発を検討します。 ■オリジナル生落雁「鏡板」について、季節や催しものに応じた販売強化を行います。 □鏡板 特別バージョン販売 年2回以上 ■新てぬぐい「舞」と関連グッズの販売を強化します ■物販・チケット代金の支払にクレジットカード・電子マネーを検討し、導入します。</p>	<p>■達成指標どおり実施しました。 平成30年度ショップ収入3,258千円 ■お菓子も含めた新しい商品開発を検討、「鏡板」と競合せず、持ち帰りやすく、利用者からニーズがあると思われる「ぼち袋」の検討を進めました。 ■達成目標どおり実施しました。友の会会報での周知、予約受付対応など販売促進に努めました。 □7回/年(4、6、8、12、1、2、3月) ■CD「琵琶とマンドリン」東京都庭園美術館委託販売(7/17～9/17)、「橋がかり」でショップ商品(書籍2種)を案内(8月)、来年度「濱ともカード」ガイド広告掲載(3月) ■達成指標どおりに実施しました。</p>
<p>④来館者及び外国人観光客に向けたWi-Fi用アクセスポイントの設置</p>	<p>■フリーWiFiの提供を行います。 □ロビー・展示廊エリア1常時提供、見所エリア2必要時に提供(アクセスポイント)</p>	<p>■達成指標どおりに実施しました。 □達成指標どおりに実施しました。 ・施設見学タブレットガイド試行(4月) ・「花開く伝統-日台の名作と新作-繡襦夢」で字幕(日・中)配信(6月) ・バリアフリー能で字幕配信(3月)</p>

(3) 組織的な施設運営の取組、職員の確保・職能、配置及び育成

<p>[目指す成果] 専門館ならではの事業の実施、施設の堅実な運営に向けて人材を配置・育成します。</p> <p>[成果についての振り返り] 必要な職員配置を行いました。人材育成、マネジメント力の向上を図るため、積極的に研修に参加させました。</p>																																						
<p>[取組内容]</p> <p>①明確な責任体制の構築、勤務シフトの設定</p> <p>②適切な休館日の設定</p> <p>③専門性人材の安定的確保と能力向上に対する方策の実施</p> <p>④求める役割を果たす責任者・職員の配置</p> <p>⑤各研修の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■管理運営チームリーダーが貸館と施設広報を担い、利用率達成を目指します。</p> <p>■プロデューサーとなる企画制作担当職員は、先輩後輩のペア制をとることでOJTを行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1</td> <td>エグゼクティブ・プロデューサー</td> </tr> <tr> <td>経営グループ長</td> <td>1</td> <td>管理運営1</td> </tr> <tr> <td>管理運営チームリーダー</td> <td>1</td> <td>管理運営1 ※貸館営業担当</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>7</td> <td>企画制作4、 庶務経理1、 施設管理1、 広報営業1</td> </tr> <tr> <td>補助職員</td> <td>17</td> <td>事務室補助職員1、 1F受付スタッフ16</td> </tr> </tbody> </table> <p>■開館日数：339日</p> <p>■施設点検のための休館日：年間26日</p>	項目	人数	備考	館長	1	エグゼクティブ・プロデューサー	経営グループ長	1	管理運営1	管理運営チームリーダー	1	管理運営1 ※貸館営業担当	職員	7	企画制作4、 庶務経理1、 施設管理1、 広報営業1	補助職員	17	事務室補助職員1、 1F受付スタッフ16	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■各種割引導入、パーティー利用や撮影料金の設定及び営業等、貸館・来館促進事業を進め、利用率を概ね達成しました。</p> <p>■公演ごとに1事業2名体制を明確にし、OJTを実施しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1</td> <td>エグゼクティブ・プロデューサー</td> </tr> <tr> <td>経営グループ長</td> <td>1</td> <td>管理運営1</td> </tr> <tr> <td>管理運営チームリーダー</td> <td>1</td> <td>管理運営1 ※貸館営業担当</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>6</td> <td>企画制作4、 庶務経理1、 広報営業1</td> </tr> <tr> <td>補助職員</td> <td>18</td> <td>事務室補助職員1、 1F受付スタッフ16 施設管理1</td> </tr> </tbody> </table> <p>■施設管理1名は補助職員ですが、新たに位置づけた管理運営チームリーダーが統括することにより業務計画通り実行しました。</p> <p>■開館日数：333日</p> <p>■施設点検のための休館日：年間32日</p> <p>消防設備更新工事のため、臨時休館日を6日設定（1/28、2/5・6、26、</p>	項目	人数	備考	館長	1	エグゼクティブ・プロデューサー	経営グループ長	1	管理運営1	管理運営チームリーダー	1	管理運営1 ※貸館営業担当	職員	6	企画制作4、 庶務経理1、 広報営業1	補助職員	18	事務室補助職員1、 1F受付スタッフ16 施設管理1
項目	人数	備考																																				
館長	1	エグゼクティブ・プロデューサー																																				
経営グループ長	1	管理運営1																																				
管理運営チームリーダー	1	管理運営1 ※貸館営業担当																																				
職員	7	企画制作4、 庶務経理1、 施設管理1、 広報営業1																																				
補助職員	17	事務室補助職員1、 1F受付スタッフ16																																				
項目	人数	備考																																				
館長	1	エグゼクティブ・プロデューサー																																				
経営グループ長	1	管理運営1																																				
管理運営チームリーダー	1	管理運営1 ※貸館営業担当																																				
職員	6	企画制作4、 庶務経理1、 広報営業1																																				
補助職員	18	事務室補助職員1、 1F受付スタッフ16 施設管理1																																				

	<p>■勤務体制</p> <p>【基本】館長を除きローテーションでの勤務体制 主催事業や貸館内容に応じて勤務体制を調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館長 9:30～18:15 ・経営グループ長以下の職員 <p>A勤務 8:45～17:30、 B勤務 13:15～22:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助職員（B1F 事務所） <p>A勤務 8:45～17:15、 B勤務 13:30～22:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助職員（1F 受付） <p>A勤務 8:55～14:40、 B勤務 14:30～20:15</p> <p>□バリアフリー研修 1回</p> <p>■公文協・劇音協ほか外部セミナーの受講を推奨し、専門知識の習得に努めます。</p>	<p>3/5・6)</p> <p>■早番、遅番の2交代制を基本として午前9時から午後10時までの開館時間を適正な出勤人数で運営しました。人員を要する主催事業や貸館状況がある際は、月1回の全体会議等で確認、シフトを調整し柔軟に対応しました。</p> <p>□1/23「視覚障がいについて」 中区視覚障害者福祉協会およびボランティアグループ KAME の会（視覚障がい者ボランティアガイド団体）と連携して案内方法を学びました。</p> <p>■6/13 ブリティッシュ・カンシル 「障害者アクセシビリティ向上のためのトレーニングWS」1名、 6/15 よこはま西ビル環境協議会研修2名、7/12 ダイバーシティ研究所「災害時に指定管理事業者が担う役割と責任～熊本地震から学ぶ災害への備え～」1名、7/25 県民ホール「劇場運営マネジメント講座」2名、8/20 公文協「危機管理研修 国民保護から考える」1名、10/10 全国公文協の支援員研修(テーマ: 伝統芸能)2名、10/19・11/2 横浜観光コンベンション・ビューロー「英語でおもてなしセミナー」各1名、10/23 県文協「関内ホール施設見学会」2名、11/7 公文協の支援員研修 (テーマ: 社会包摂・インク</p>
--	---	--

	<p>■財団主催研修・横浜市研修へ職員を参加させ資質向上およびスキルアップをはかります。</p> <p>■他施設で行われる公演視察により職員の企画・運営力向上をはかります。</p> <p>■調査研究のための出張 国内 1カ所、海外 1カ所</p>	<p>ルーシブ) 1名、11/12 公文協「関東甲信越静地域技術職員研修会」1名、12/5 公文協「発達心理学から年齢別の注意点を探る」3名</p> <p>■5/23 (財団) 予算マネジメント研修 (グループ長) 1名、5/28 (財団) クレーム対応研修 2名、5/31・6/12 (市) 施設管理者を対象とする出前研修各 1名、7/18(市) 公共建築物の保全に関する研修 1名、8/20(市) 局内研修「文化政策講座」1名、8/20(市) パブリシティ研修 1名、9/11 西区「見た人を動かすチラシの作り方」1名、10/5-7 事業研修 (JAZZ プロムナード) 1名、10/19、24(財団) 評価者研修 各 1名、12/4 (財団) 広報研修 2人、12/11 (財団) ACY 特別講座 1人、2/1、19(財団) チームビルディング研修 各 1人、2/21 (財団) 文化行政・文化施設における平等・多様性・包摂 WS 1名、3/8 舞台系専門職員研修(財団) 3人、都市ブランド調査結果説明会 (市) 1人</p> <p>■他施設の公演視察 4/10 京都観世会館、7/7、12/9 国立劇場おきなわ、2/1 黒川能 (山形)</p> <p>■国内 4 か所 7/5-7 沖縄、7/12-14 京都・名古屋、1/31-2/2 山形</p> <p>■海外 1 か所 9/4-16 台湾 ・事業担当リーダーが 2/19ACY 主催「芸術と社会をつなぐ-平等、多様性、包摂が開く私たちの未来」で事例紹介のプレゼン実施</p>
--	---	--

(4) 本市の重要施策を踏まえた取組

<p>[目指す成果] 横浜市の重要施策を踏まえて、真摯に取り組みます。</p> <p>[成果についての振り返り] 横浜市の重要施策を踏まえて、適切に取り組みました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①個人情報保護 ②コンプライアンスの遵守 ③適正な情報公開 ④人権尊重 ⑤環境への配慮 ⑥市内中小企業優先発注 ⑦男女共同参画の推進 ⑧その他</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■個人情報取扱いマニュアルに 則り適切に対応します。</p> <p>□個人情報取扱研修 年1回</p> <p>■コンプライアンス委員会での 情報共有を行います。</p> <p>■印刷物を中心にダブルチェッ クの徹底</p> <p>□全職員対象コンプライアンス 研修 年1回</p> <p>□横浜市主催人権研修に職員を 参加させます。</p> <p>■省エネルギー・節電・ごみ減量 に取り組みます。</p> <p>□中小企業への優先発注 全発 注の9割以上</p> <p>■労働時間を適切にコントロー ルし、超勤の抑制に努めます</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■個人情報取扱いマニュアルを全 員で共有しました。</p> <p>□年3回 4/3 職員対象、2/1 新採 用職員対象、3/7 新採用カルチャー スタッフ対象</p> <p>■コンプライアンス委員会後すみ やかにメモを作成し、職員に共有 しました。</p> <p>■印刷物は経営グループ長まで複 数名で校正し、誤記載を防ぎまし た。</p> <p>□年4回 4/3 取扱い研修、7/20 賞 味期限注意喚起研修、2/1 新採用職 員対象、3/7 新採用カルチャー スタッフ対象</p> <p>□12/4 磯子区1人、12/13 保土ヶ谷 区1人</p> <p>■施設の利用状況に合わせて不要 な電気や空調オフにしました。利 用者にはごみを極力お持ち帰りい ただき、持ち帰りが困難な場合は ごみ袋を有料で提供し量の抑制を はかりました。</p> <p>□達成指標どおり実施しました。 市内中小企業への発注を原則とし ました。</p> <p>■職員平均超勤時間 16.5時間/月</p>

3 文化事業

(1) 能楽等の継承・振興・発展に向けた次世代育成、愛好者の拡大

<p>[目指す成果] 敷居が高いと思われがちな能楽等古典芸能に関する興味や関心を広げ、理解を深めます。</p> <p>[成果についての振り返り] 普及公演「横浜狂言堂」(毎月1回全12公演)、バリアフリー能、教師対象の狂言講座など、古典芸能への入口となる事業を開催しました。達成指標はすべて計画を上回り、古典芸能への興味や関心を高めることに寄与しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>① 能楽等の古典芸能の継承、振興や発展に向けた公演、講座・ワークショップの実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□普及公演「横浜狂言堂」全12回 毎月第二日曜日開催、解説付きで2000円の料金設定により初心者だけでなく、鑑賞回数を増やしたい層にも魅力ある公演です。 券売率90% 入場者数437人/回(12回 5,244人)</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□毎月第2日曜日に開催 (4/8、5/13、6/10、7/8、8/12、9/9、10/14、11/11、12/9、1/13、2/10、3/10) ・平均券売率99.5% (4月99.4%、5月97.8%、6月99.4%、7月100%、8月100%、9月100%、10月100%、11月97.1%、12月100%、1月100%、2月100%、3月100%) ・平均入場者数447人 (12回5,363人) もう1枚分のチケット代金で児童養護施設児童に加え「あしなが育英会」学生が鑑賞できるプロジェクトを実施し9名鑑賞しました。</p>
<p>② 「クリエイティブ・インクルージョン」の趣旨を踏まえた、人種・国籍・宗教・障害の有無・性別・性的指向・年齢等に関係なくすべての人が参加できるとともに、ユニバーサル対応に向けた様々なサポート体制を整えた公演及び体験講座等の実施</p>	<p>□3/17 普及公演「バリアフリー能」1回 「すべての人に能楽を」というコンセプトで、障がいのある方へのさまざまなサポートを用意し実施します。 視覚障がい者・聴覚障がい者向け事前見学会 各1回 公演終了後の意見交換会 1回 券売率50% 入場者数244人・介助者1名無料</p>	<p>□3/17 開催 ・介助者無料チケットを含め券売率80.9%(介助者チケット分を除くと59.3%、介助者チケット96枚)。入場者数383人(うち介助者93人) 点字による広報物、舞台触図、副音声、手話通訳、詞章の用意、触れる能面展示等各種サポートに加え、見所Wi-Fiを活用した字幕配信と副音声イヤホンガイドを実施。字幕には役割ごとに色を変えるなど、より字幕がわかりやすい形とし、また副音声では ambie 株</p>

<p>③「クリエイティブ・チルドレン」の考え方に基づく、次代を担う子どもたち、その保護者、教育関係者等を対象とした施設内での能楽等の学習・体験機会、古典芸能に触れるきっかけの提供</p>	<p>□8/11 講座「山本東次郎の狂言の時間」1回 夏休みに親子で狂言に親しむ公演。教科書掲載の狂言「柿山伏」を中心に、人間国宝により狂言の面白さを伝えます。こども料金を抑え、家族で来場しやすい価格設定とします。 券売率 80% 入場者数 388 人 こども料金 500 円</p> <p>□8/11 特別講座「先生のための狂言講座」1回 講座「山本東次郎の狂言の時間」終了後、狂言師を講師に、国語科における狂言単元の活かし方について教師向け特別講座を開催します。 参加者数 50 人以上</p>	<p>式会社の協賛により、開放型イヤホンを導入しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚、視覚（2/17）、知的（2/25）向け事前見学会 各1回（参加者数：聴覚3人、視覚11人、知的4人） ・3/21 公演後に視覚障がいについての意見交換会を実施。（参加者数32人） <p>[主なご意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「字幕はとても見やすく、内容がよく分かってよかった」などのご意見があった。 <p>□8/11 実施、券売率 100%、入場者数 462 人（うちこども料金入場者数 112 人） 初心者でも楽しめる演目と一流演者の解説付きの工夫で販売予定枚数は完売しました。券売好調により、入場者数も目標を大きく上回りました。</p> <p>□8/11 実施、参加者 76 人 講座での経験を授業で子どもたちに伝え、古典芸能への興味につなげることを目的とし、教師を対象に開催、目標を上回る参加者がありました。講座終了後の施設見学会も 50 人の参加があり、理解を深めていただきました。</p> <p>[アンケート]</p> <p>情熱が伝わってきた。もっと古典も勉強したくなった。日本人としての教養（お約束事）をもっと知らなければと感じた。出張で学校に来てもらえたらうれしい。教える側が本物の舞台（狂言、歌舞伎…）をみたこ</p>
---	---	--

<p>④子どもたちの感性、創造性を育み、意欲を発展させることのできるプログラムや継続性のある事業の実施</p>	<p>□8月7,8,9日こども狂言ワークショップ 入門編 3日間 山本東次郎家を講師に迎えて夏休みに小・中学生の子ども対象のワークショップを開催します。 参加者数 20 人以上</p> <p>□1-3月こども狂言ワークショップ 卒業編 10回 入門編の参加者のうち舞台での発表を目標としたワークショップを開催します。 参加者数 5人</p> <p>□3/31 横浜こども狂言会 1回 こども狂言ワークショップでの稽古の成果を、OB・OG組織である「いろはの会」メンバーと一緒に本舞台で披露します。 こども狂言ワークショップ卒業編からの参加者 5人、 いろはの会の参加者含め 15人 入場者数 100人</p>	<p>とない。能楽堂には行ったことがないのは恥ずかしいと思える人が多くなるよう、若い教員を育てることが大切。</p> <p>□8月7-9日実施、参加者数 8/7 24人、8/8 26人、8/9 26人 〈アンケート〉 こども：今日の柿山伏もとても楽しみ。学んだことをみんなに伝えたい。先生の声量に圧倒された。日本の文化についてふれられてよかった、またやりたい。 大人：子供が本物に触れる体験が出来た。短い時間ながら、子供達には十分な経験になった。先生のお話を夏休みの自由研究にまとめた。能楽のワークショップにも参加させたい。</p> <p>□稽古 10 回実施 (1/10、16、25、2/6、16、22、3/6、13、20、29) 参加者数 5人</p> <p>□H31年 3/31 実施 参加者 20人 来場者 150人 卒業編の 5人が「いろはの会」とともに本舞台で成果を披露。いろはの会からの参加者が多く、目標を上回りました。 天候も良く、花見の時季と重なり例年より来場者が増えました。</p>
<p>⑤市内の子どもたちに対して文化芸術に触れる機会を提供するため、「横浜市芸術教</p>	<p>□「横浜市芸術教育プラットフォーム」学校プログラム 狂言・古典芸能を軸にコーディ</p>	<p>□5校実施 6/28 六つ川小、9/20 鶴ヶ峯小、11/5 帷子小、12/17 東小、1/16、17、28 日野南小</p>

<p>育プラットフォーム」に コーディネーターとして参 画し学校プログラムを実施</p>	<p>ネットを行います。5校実施</p>	
<p>⑥能楽等の次世代の育成に向 けて、若手の演じ手や公演 等の作り手の積極的な登用</p>	<p>■通常の公演企画を通じて実力 ある若手の演じ手を起用してい きます。</p>	<p>■企画公演「能の五番 朝薫の五 番」で宝生和英、佐辺良和を登用 しました。普及公演でも若手の演 じ手を起用しました。</p>
<p>⑦古典芸能の魅力を伝え、興 味や関心に応じて体験する ことのできるワークショップ や講座等の開催</p>	<p>□4-7月講座「初めての能楽教 室」 お稽古の機会が得にくい能楽教 室を、主に大人の初心者を対象 に開催します。平成30年度より 開催時期を11月から季節の良い 4月開始に変更することで、夜の お稽古に参加しやすくします。 謡・仕舞12人、小鼓12人、大 鼓12人 合計36人</p>	<p>□4-7月『謡・仕舞』、『小鼓』、『大 鼓』を各10回、参加者数各12人、 合計36人で目標を達成しまし た。 7/23に合同発表会を開催しまし た。</p>
<p>⑧愛好者の定着に向けた古典 芸能に触れる際や活動にあ たってのサポート・相談体 制を整え、継続的に技術を 研鑽できる機会の提供</p>	<p>■横浜能楽堂主催ワークショッ プの修了者が継続的な稽古を支 援するため、施設利用料の減免 制度「応援割」の仕組みを整え、 広報を始めます。</p>	<p>■5/1から「応援割」を開始し、橋 がかりへの掲載(6、7月)や顧客名 簿に基づく公演案内(7月)で広報し ました。</p>

(2) 能、狂言その他の古典芸能の振興・発展

<p>[目指す成果] 全国の能楽ファンを魅了するような企画性・創造性に富んだ質の高い公演を行います。 発信力のある古典芸能分野での国際交流事業を実施します。</p> <p>[成果についての振り返り] 修羅能の世界を多角的な側面から掘り下げた企画公演「風雅と無常-修羅能の世界」を全6回上演。日 本舞踊と台湾伝統芸能・崑劇による「花開く伝統-日台の名作と新作-繡襦夢」は台湾の国光劇団との共 同制作で、横浜・台北、台中で上演されたほか、国内2カ所の能楽堂に巡回、横浜能楽堂発の企画とし て注目を集めました。</p>		
<p>[取組内容] ① 本舞台・第二舞台を活用 した公演等の開催</p>	<p>[達成指標] □施設見学会付の和のワーク ショップを、第二舞台を会場に 開催します。 ワークショップ1講座 2回 以上、申込率80%、参加人数</p>	<p>[実施内容と達成状況] □新たな来館者層への横浜能楽堂 周知と来館促進を目的に様々な切 り口で能楽堂の紹介を実施し、施設 の知名度の向上に努めました。工作 &見学、着付ワークショップ&狂言</p>

<p>②能・狂言等の継承性と創造性のバランスに配慮しつつ、横浜能楽堂独自の創造的な公演や古典芸能の多彩な公演の実施</p>	<p>12人/回</p> <p>□6/9、6/19 横浜能楽堂・台湾国光劇団共同制作公演「日台の名作と新作 繡襦夢」2回</p> <p>日本舞踊と台湾の伝統芸能「崑劇」が能舞台上でコラボレーション。日台の古典芸能に加えて29年度に日本および台湾で行ったワークショップ・レジデンスにより制作された新作上演を行います。</p> <p>また当能楽堂の企画制作作品として豊田市能楽堂および</p>	<p>鑑賞会では地域の施設や企業と連携することができました。</p> <p>5講座 11回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/3 館長が案内する横浜能楽堂見学と能楽のイロハ 2回、申込率145%、参加者数145人(72人/73人 定員各回50人) ・1/11 能楽師(シテ方)が案内する横浜能楽堂見学と能楽ワークショップ3回、申込率150%、参加者数80人(26人/24人/30人 定員各回20名) ・1/12 工作&見学「能楽堂で光の不思議を体験しよう〜！」2回、申込率105%、参加者数42人(17人/25人 見学者11人/18人 定員各回20名) ・2/1、7、10 着付ワークショップ&狂言鑑賞会1回、申込率150%、参加者数17人 定員12名 ・2/23 能楽師(狂言方)が案内する横浜能楽堂見学と狂言ワークショップ3回、申込率150%、参加者数72人(25人/26人/21人 定員各回20名) <p>□6/9、17 特別企画公演「花開く伝統-日台の名作と新作-繡襦夢」券売率73%(85.8%/60.2%)、入場者数365人/回(2回731人)</p> <p>プレトークや館内Wi-Fiを活用したスマートフォンでの字幕配信など、日台の伝統芸能をわかりやすく伝える取組みを行いました。豊田市能楽堂、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館能楽堂に巡回後、9月には台湾でも上演され、横浜能楽堂を発信する機会となりました。</p>
---	--	---

	<p>りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館能楽堂での巡回公演を各1回行います。</p> <p>券売率 65% 入場者数 315 人 / 回 (2回 630 人)</p>	<p>(追加)</p> <p>【台中公演】9/8-9 台中国家歌劇院 (2回公演)</p> <p>【台北公演】9/14-16 台湾戯曲センター (4回公演)</p> <p>[アンケート]</p> <p>崑劇が横浜能楽堂になじんでいた。また、日本舞踊の踊り、演奏も大変良かった。初演の作品も新鮮。充実した時間を過ごせた。プレトークはとてもよい試み。チケットの値段が上がってもよいのももう少しボリュームが欲しい。台湾の楽器の説明があるとよかった。繡襦記の方にも字幕がほしかった。内容がわからない ストーリーを書いて配布すべき。スマホでなく字幕があったらよかった。</p>
<p>③能楽等の鑑賞者を広げ、愛好者の定着を図るため、能及び狂言等の基本知識や曲の見どころ・背景などを分かりやすく伝える等の創意工夫を凝らした公演の定期開催</p>	<p>□12/16 普及公演「眠くならずに楽しめる能の名曲」1回</p> <p>能楽初心者が退屈せずに楽しめる曲を選び、解説付きで開催します。</p> <p>券売率 80%/入場者数 388 人</p>	<p>□12/16 実施 券売率 100%、入場者数 458 人</p> <p>11/3 館長が案内する横浜能楽堂見学と能楽のイロハとのセット券を販売し販促に努めました。</p> <p>[アンケート]</p> <p>館長の解説が良かった。2階席、非常に観やすく、楽しめた。解説が長かった。子どもが小さい頃、シートクッションがあればいいなと思っていましたが今日、久しぶりに来館したら貸し出しがあり、改善されているなど感じた。謡本の歌詞をプログラムに入れて下さい。</p>
<p>④文化専門施設として蓄積した高度かつ専門的なノウハウを発揮し、横浜や横浜能楽堂ならではの発信性ある魅力的な公演・事業等の実施</p>	<p>□10/未定 企画公演「苦悩と風雅 修羅能の世界」(全5回)</p> <p>能の二番目物「修羅能」に焦点を当てた企画。5回シリーズで修羅能の名曲を、講演や能にちなんだ雅楽の演奏を交えて実施す</p>	<p>□9-3月 企画公演「風雅と無常-修羅能の世界」(全6回)券売率 85.8%、入場者数 380 人/回 (全6回 2,282 人)</p> <p>9/22 第1回「青葉の笛」券売率 82%、入場者数 390 人、10/7 第2回「修羅</p>

	<p>る大型企画です。日本画家・山口晃氏作品による「修羅」をテーマにした特別展示を行います。</p> <p>券売率 80% 入場者数 388 人 / 回 (全 5 回 1,940 人)</p>	<p>能と狂言」券売率 70.5%、入場者数 291 人、12/22 第 3 回「名器・青山」券売率 90%、入場者数 383 人、1/20 第 4 回「生田の梅」券売率 88.2%、入場者数 387 人、2/16 第 5 回「無常」券売率 100%、入場者数 448 人、3/23 第 6 回「和歌の徳」券売率 84.2%、入場者数 383 人</p> <p>当初企画に加えて「修羅」を取り扱った狂言公演や、「修羅能の世界」についての特別講座を実施することで、「修羅能」の世界観をより深く理解してもらえるようにシリーズ全体の充実を図りました。異ジャンルとのコラボが新たな顧客開拓に繋がりましたが、従来のファン層へのアピールにはならず集客に苦慮しました。</p> <p>[アンケート]</p> <p>能以外の演目や拍手の仕方の説明があると嬉しい。雅楽管絃のように音を楽しむ時には会場の音に気を配ってほしい。玄関前に蚊がたくさんいて閉口 (→以後公演時は蚊取り器を玄関外に設置)。台風の影響か空席が多かったが、多少値下げして集客につとめて欲しかった。午前中の公演は参加しやすい(複数)。若い客層が少ないのが、本当に残念だし、不安。もっと普及への努力をすべきと考える。イヤホンガイドがあるとわかりやすい(複数)。配布プログラムに簡単な英語解説を。山口晃さんの梅の解説よりも能の解説を聞いたかった。山口晃さんの梅の演出が斬新、梅若紀彰師の芸の高さ。梅を山口さんに依頼したあたりが横浜能楽堂の鋭いセンスをひしひしと感じ今後ももっと通い詰めた</p>
--	--	--

	<p>□2/9 企画公演 横浜能楽堂・伝統組踊保存会提携公演「能の五番 朝薫の五番」第5回 1回 能と組踊の類曲を上演し、それぞれの芸術を比べることができる公演です。5年連続公演の最終回となる今回は大曲の能「道成寺」と組踊「執心鐘入」を上演します。</p> <p>券売率 80% 入場者数 388 人</p>	<p>なくなった。スパイシーな梅をまとったシテは眼福だった。懺法の解説がほしかった。意味不明の経が長々と唱えられ、長過ぎた。相国寺の観音懺法会とのコラボも素晴らしかった(多数)。横浜に転居して初めて横浜能楽堂に来たが、すてきな能楽堂でうれしい。稀をてらったものではなく本当のお能で観客を集める催しをして欲しい。</p> <p>□2/9 実施 券売率 100%、入場者数 459 人</p> <p>30 年度は 5 年連続公演の最終年度となりました。複数年度に渡り「能」と「組踊」を継続して上演することで、それぞれの芸能に対する理解を深めることができました。特に、本土では上演機会の少ない「組踊」について、その魅力を多くの能楽ファンに伝えることができ新たな「琉球芸能」ファンの開拓に繋げることができました。</p> <p>また、伝統組踊保存会と共同主催を行うことで、公演制作ノウハウを共有することができました。</p> <p>[アンケート]</p> <p>能と組踊を比較しながら観賞できた。横浜能楽堂の企画は興味深いものが多い。なじめない能も5年で好きになると思っていたが、組踊ファンには組踊りが短い。2階男性トイレの個室にコートなどがかけられるようにしてほしい(→対応済み)。公演内容のパンフを閲覧していたら、紙をめくる音を隣の方に注意され困った。事前の配布が嫌な方もいるようです。アメのつつみをガサガサしている人が多く驚いた。</p>
--	--	--

(3) 能楽堂自体の魅力の発信

<p>[目指す成果] 和の文化施設として今までにない能楽堂の魅力発信し認知度の向上をはかります</p> <p>[成果についての振り返り] 日本文化を発信する施設として、すべての達成指標を上回るイベントや取組みを実施し、認知度向上をはかりました。能楽、古典芸能以外からも横浜能楽堂にアプローチしてもらえるようなユニークなワークショップも開始しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①貸館営業、広報営業担当の人員配置</p> <p>②能舞台の文化的価値や日本の伝統文化の発信、おもてなしの拠点となる文化プログラムやユニークベニュー等の企画、多言語対応を含む受入を行うことによる、横浜や横浜能楽堂の魅力や認知度の向上</p> <p>③観光・宿泊プラン、国際会議等、MICE と連携し、アフターコンベンション等への施設提供</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/> MICE 関連展示会視察 1 回以上</p> <p><input type="checkbox"/> 提案可能な日本文化体験プログラムの作成 1 本</p> <p><input type="checkbox"/> 提案可能な公演鑑賞パッケージの作成 1 本</p> <p><input type="checkbox"/> 公演または文化体験プログラムのリリース 1 本以上</p> <p><input type="checkbox"/> 大規模合コン「街コン」又は「大人コン」開催 1 回以上</p> <p><input type="checkbox"/> 近隣ホテルとのお食事付チケットプラン 1 公演</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/> 2 回 7/19 海外&インバウンドマーケティング 2018 1 人、8/23 JTB「MICE ユニークベニュー説明会」1 人→第 3 回神奈川県議会議場モニターに外観・本舞台写真が投影されました。</p> <p><input type="checkbox"/> 2 本 能楽師が案内する見学と能楽ワークショップ（シテ方、狂言方各 1 講座）とし（8 月）三菱地所レジデンスクラブに提案しました。</p> <p><input type="checkbox"/> 2 本 ・「眠くならずに楽しめる能の名曲」鑑賞と「館長が案内する横浜能楽堂見学と能楽のイロハ」のセット券を販売しました。 ・「着付ワークショップ&狂言鑑賞会」着付終了後、着物で横浜狂言堂を鑑賞するワークショップをハクビ（株）と連携して開催しました。</p> <p><input type="checkbox"/> 三菱地所レジデンスクラブに「能楽師（シテ方、狂言方各 1 講座）が案内する見学と能楽ワークショップ」を提案（8 月）、シテ方、狂言方各 1 回ずつの買取りが確定しました。</p> <p><input type="checkbox"/> 2 回 6/10 Meeting Terrace、2/10「狂言から始まる新しい出会い」</p> <p><input type="checkbox"/> 2 公演 ・6/10 横浜狂言堂（サンケイリビング「おいしい横濱めぐり」）</p>

	<p>□施設見学会付の和のワークショップを、第二舞台を会場に開催します。</p> <p>ワークショップ1講座 2回以上、申込率80%、参加人数12人/回(再掲)</p> <p>■英語接客が可能なスタッフが「ENGLISH OK!」バッチ着用</p> <p>■その他言語の対応可能なスタッフが「◎◎ OK!」バッチ着用</p> <p>■能・狂言の英文解説をすべての演目で用意します</p> <p>■館内サインのピクトグラム化の検討</p> <p>■インターネットチケットサイ</p>	<p>・11/24 かもんやま能(ポケカル「かもん山能鑑賞付ツアー」)</p> <p>□5講座11回(再掲)</p> <p>・11/3 館長が案内する横浜能楽堂見学と能楽のイロハ2回、申込率145%、参加者数145人(72人/73人定員各回50人)</p> <p>・1/11 能楽師(シテ方)が案内する横浜能楽堂見学と能楽ワークショップ3回、申込率150%、参加者数78人(26人/24人/28人定員各回20名)</p> <p>・1/12 工作&見学「能楽堂で光の不思議を体験しよう〜!」2回、申込率105%、参加者数42人(17人/25人 見学者11人/18人 定員各回20名)</p> <p>・2/1.7.10 着付ワークショップ&狂言鑑賞会1回、申込率150%、参加者数17人 定員12名</p> <p>・2/23 能楽師(狂言方)が案内する横浜能楽堂見学と狂言ワークショップ3回、申込率150%、参加者数70人(25人/24人/21人 定員各回20名)</p> <p>■年間を通じてバッチを着用し海外からのお客様に対応しました。</p> <p>■英語、中国語、ポルトガル語、ギリシャ語のバッチを着用しました。</p> <p>■すべての演目で英文解説を用意したほか、「花開く伝統-日台の名作と新作-繡襦夢」(6月)ではスマートフォンに日・中で字幕配信を行いました。</p> <p>■現状のサインマップと施設の要望を横浜市に提出(8月)、デザイン案検討、ピクトグラム化実施(3月)。紅葉坂に案内サインが設置されました。(1月)</p> <p>■達成指標どおり実施しました。</p>
--	--	--

	<p>トの英語版を提供</p> <p>■ (公財) 横浜観光コンベンション・ビューローとの情報共有によるプロモーションの推進 (人員配置については、2(3)のとおり)</p>	<p>■ パーティー利用について情報提供(11月、2月)</p>
--	---	----------------------------------

(4) 能楽等に関する地域等との連携事業

<p>[目指す成果] 地域との連携を密にし、能楽堂の地域文化資源としての魅力をPRします。</p> <p>[成果についての振り返り] 横浜市内の能楽団体との共催公演、小学生の見学・学習サポートなど教育機関との連携、地域イベントへの積極的な参画等に取り組みました。特に施設見学会は計29回開催し、能楽堂の魅力を職員自ら多くのお客様に伝えました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①国際文化交流拠点としての役割期待を踏まえた地域、地元企業等との連携、能楽等の振興に資する活動の実施</p> <p>②能楽師を中心とした演者、能楽等の団体・他の能楽堂や能楽等を支える伝統工芸に関わる作家や企業、愛好者の団体等との幅広いネットワークの形成</p> <p>③学生等をはじめとした職場訪問・職業体験やインターンシップ等の受入、専門知識を習得している段階の学生や市民ボランティア等、地域と連携し、愛好者や人材の育成支援</p> <p>④近隣小学校への能、狂言の学習サポート</p> <p>⑤地域住民への公演告知等による能楽堂や古典芸能に触れる機会の提供</p> <p>⑥施設見学会の開催</p> <p>⑦地域の古典芸能振興として、実演家・地域企業・関連</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□6/2 第66回横浜能 1回 横浜ゆかりの能楽師による能「砧」 横浜能楽連盟との共催。 券売率85% 入場者数412人</p> <p>□中・高校生の職場体験受入 2校</p> <p>□小・中・高校の見学・学習サポート 3校</p> <p>□小・中学校校長会での見学会の案内 1回</p> <p>■児童・生徒向け見学パンフレットの用意</p> <p>■11/24「第35回横浜かもんやま能」1回</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□6/2 第66回横浜能 1回 券売率100% 入場者数469人 横浜ゆかりの能楽師により能「砧」を横浜能楽連盟と共催、目標を上回りました。</p> <p>□インターン受入 3人 5/31-6/18 昭和音楽大学1人(台湾公演)、3/10-8月海外(ギリシャ・アテネ大学) インターン1人(アーカイブ整理)、3/14-19 沖縄県立芸術大学1人(バリアフリー能)</p> <p>□6校 5/15 横須賀市立北下浦中学校6人、11/7 横浜市立東汲小学校94人、11/7 横浜市立師岡小学校37人、11/11 横浜市立名瀬小学校110人、11/30 横浜市立川上北小学校155人、11/21 神奈川学園高等学校12人</p> <p>□2回 7/25 市教委書写実技研修会、7/27 市教委国語科朗読音読研修会(いずれも「狂言の時間」)</p> <p>■達成指標どおり実施しました。 配布実績：学校見学会時の配布5校約300部 主催事業時の配布約200部</p>

<p>団体と連携・ハブを担う、能の公演の開催</p> <p>⑧近隣団体との協働事業への参加、近隣施設との協力</p> <p>⑨横浜市内在住外国人への広報</p>	<p>ふるさと西区推進委員会、西区役所との共催事業運営・広報協力を行います</p> <p>□施設見学会 月1回開催 年間12回以上実施</p> <p>うち1回を8/26 西区虫の音を聴く会との同時開催として、地域のにぎわいに貢献します。</p> <p>参加者数各回15人以上</p> <p>□近隣住民へのちらし配布 2回/年（利用案内含む）</p>	<p>■11/24 開催</p> <p>第35回かもんやま能 入場者数456人</p> <p>狂言「清水」、能「船弁慶」を上演。広報協力、チケット販売代行、当日進行を担いました。</p> <p>□29回、28人/回</p> <p>4/10 施設見学会10人、4/19 山九(株)23人、4/27 神奈川県建築士事務所協会横浜支部10人、5/10 施設見学会10人、6/10 Meeting Terrace 25人、おいしい横濱めぐり30人、6/14 施設見学会13人、6/14 四街道市芸術文化団体連絡協議会45人、7/12 施設見学会8人、8/11 「先生のための狂言講座」参加者50人、8/25 西区ガイドボランティア25人、8/25 虫の音スペシャル（西区連携）185人、9/13 施設見学会27人、10/11 施設見学会2人、10/29 国際歯科研究学会議（コングレ）施設見学28人、10/29 野毛まちなかキャンパス26人、11/14 神奈川県国際観光課通訳ガイド向け県内実地研修34人、11/24 ポケカル連携施設見学会40人（かもん山能鑑賞付）、12/7 クラブツーリズム エコースタッフ交流会39人、12/13 施設見学会7人、1/10 施設見学会20人、1/12、17、27、30、2/2 クラブツーリズム横浜・ぶらり浜あるき（34人/25人/28人/27人/25人）、2/10 「狂言から始まる新しい出会い」8人、2/14 施設見学会13人、3/24 春の特別見学日240人、「虫の音を聴く会」と連携した見学会に多くの来場があり目標を上回りました。</p> <p>□近隣マンションへのチラシ配布 4回/年（合計154枚）</p>
--	--	--

	<p>□みなとみらい 21「さくらフェスタ 2018」への参加</p> <p>□「野毛まちなかキャンパス」実行委員会との協働</p> <p>□みなとみらい 21「かもめスクール」との協働</p> <p>□西区町歩き企画への協賛・共催 1回以上</p> <p>■紅葉ヶ丘エリアの5館連携について、館長会に参加し協働を検討します。</p> <p>□英文タブレットガイド準備公演 1公演以上</p> <p>□英文の施設紹介ちらしを再作成します。1種類</p> <p>■WEB ページ、ツイッターの多言語化を実現します</p>	<p>6/25「橋がかり」に「虫の音スペシャル」案内を掲載、7/26「狂言の時間」「虫の音スペシャル」を配布、9/28 各種ワークショップ、主催公演チラシ配布、12/23「東次郎家伝十二番」等主催公演チラシ配布、3/1 来年度「濱ともカード」ガイドに広告掲載</p> <p>□3/31-4/8 参加</p> <p>□10/29 実施 参加者数 26 人</p> <p>□11/8 かもめスクール施設見学会 (6 人/応募 7 人)、11/11 横浜狂言堂鑑賞</p> <p>□5 回 さくらフェスタ 2018 スタンプラリー(4 月)、西区インスタグラムに協力(9 月)、ハマのウォーキングフェスティバル参加賞提供(12 月)、西区商店街スタンプラリー提供 (2 月)、さくらフェスタ 2019 スタンプラリー(3 月)</p> <p>■5 館長会議(6 月)、5 館連携担当者会議(1、2、3 月)、紅葉ヶ丘再生プロジェクト(11、3 月)</p> <p>□3 公演 6/9、17 日台の名作と新作(日中)、3/17 バリアフリー能字幕</p> <p>□平成 31 年度(令和元年度)紅葉ヶ丘周辺地図が変わるため、翌年度に作成を見送りました。</p> <p>■実施しました。</p>
--	---	--

(5) 情報提供及び渉外、広報・プロモーション活動

<p>[目指す成果] 情報発信、提供を積極的に行い、横浜能楽堂や古典芸能の認知度を高めます。</p> <p>[成果についての振り返り] ホームページ、SNS を活用するとともに、従来通り紙媒体も効果的に配布しました。公演情報を中心に今年度も多くの媒体に取り上げられました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①施設の紹介 ②公演、事業の紹介 ③横浜能楽堂友の会「かもん会」の運営 ④業務計画書等の公開 ⑤マスコミ等を中心とした幅広いプロモーションの実施 ⑥能楽関連の情報、資料の開示 ⑦公演・講座記録として開館以来の公演等の記録を整理し、「横浜能楽堂アーカイブ」構築の検討</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>WEB ページアクセス数 トップページ：10,000／月 ページビュー：49,000／月 <input type="checkbox"/>ツイッターフォロワー数： 2,350 人 <input type="checkbox"/>年間スケジュール：10,000 部 <input type="checkbox"/>3か月の行事予定「橋がかり」月10,000部 <input type="checkbox"/>横浜能楽堂友の会「かもん会」会員数：目標 800人 <input type="checkbox"/>広報資料送付： 新聞・雑誌・テレビ等のマスコミ約100社 <input type="checkbox"/>新聞、雑誌の掲載：年間24本</p> <p>■ニコニコ動画に代わるインターネットによる広報手法の検討</p> <p>■1F書架の閲覧についてWEBで周知します。</p> <p>■電話やメールでの問い合わせに対して迅速に回答します。(日本語、英語)</p> <p>■「横浜能楽堂アーカイブ」の検討を行います。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/>WEB ページアクセス数 トップページ：平均13,649／月 ページビュー：平均120,211／月 <input type="checkbox"/>ツイッターフォロワー数： 2,519人 <input type="checkbox"/>毎月10,000部配布 計画どおり印刷しました。 <input type="checkbox"/>毎月10,000部配布 計画どおり印刷しました。 <input type="checkbox"/>735人 <input type="checkbox"/>100社 計画どおり送付しました。 <input type="checkbox"/>年間44本 個別記事でインタビューなどに基づいたものとしています。</p> <p>■YouTube アカウントを取得し動画配信する方針とし(10月)、配信を行いました。馬場あき子講演「修羅能と歌」ダイジェスト2種(12月) ■計画どおり実施しました。</p> <p>■WEB ページにお問い合わせフォームを掲載し質問・ご意見を受け付けました。宛先はグループメールアドレスで職員全員が確認できるようにし、担当者から迅速に回答しました。</p> <p>■海外からのインターンを受入れ、過去の公演記録整理を始めました。(3月)</p>

(6) 館内展示及び収蔵品の管理の実施

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、適切に実施します。</p> <p>[成果についての振り返り] 業務の基準に基づき、適切に実施しました。特別展「苦悩と風雅 山口晃が描く修羅能の世界」は注目を集め、若い層へのアピールに繋がりました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①常設展の開催 ②特別展の開催 ③収蔵品の管理 ④展示の和文・英文表記の充実</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>常設展開催 年2回以上 観覧者数 4,500人</p> <p><input type="checkbox"/>特別展「苦悩と風雅 山口晃が描く修羅能の世界」(仮称) 開催 1回 観覧者数 5,000人</p> <p>■常設展・特別展の英文表記の実施</p> <p>■収蔵品を適切に管理します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/>2回(4,7月) 観覧者数 2,866人</p> <p><input type="checkbox"/>特別展「山口晃『昼ぬ修羅』」(1/19-3/23) 観覧者数 8,777人</p> <p>展覧会を目的にした新規来館者、特に若い現代美術ファンが目立ちました。メディアにも多数掲載されました。</p> <p>■計画どおり実施しました。</p> <p>■貴重な装束や能面等の収蔵品を業務の基準に基づき適切に管理しました。</p> <p>・パッケージエアコン修理(7月)</p>

(7) その他文化事業に関する取組

<p>[目指す成果] 能楽研究者および大学とのネットワークを活かし企画の充実を図ります。</p> <p>[成果についての振り返り] 舞踊団体や県外の能楽堂とのネットワークを活かした活動を行いました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①外部専門家(能楽関係者、研究者、文化団体、大学等)との協力体制・連携</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>一般社団法人 伝統組踊保存会との提携公演実施 1回 (3の(2)に記載)</p> <p><input type="checkbox"/>豊田市能楽堂、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館能楽堂主催公演の企画制作 (3の(2)に記載)</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/>2/9開催 「能の五番 朝薫の五番」</p> <p><input type="checkbox"/>「花開く伝統-日台の名作と新作-繡襦夢」の6/10りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館能楽堂、6/16豊田市能楽堂巡回公演実施 (追加)</p> <p>【台中公演】9/8-9 台中国家歌劇院(2回公演)</p> <p>【台北公演】9/14-16 台湾戯曲センター(4回公演)</p>

4 収支計画及び指定管理料

(1) 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の運用方法の考え方

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、適切に運用します</p> <p>[成果についての振り返り] 業務の基準に従い、適切に運用しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①適切な料金設定</p> <p>②利用状況に合わせた支払方法</p> <p>③条例及び施行規則に基づく減免等の運用</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■学校鑑賞会利用における半額減免の導入</p> <p>■児童、生徒、学生の見学会の全額減免</p> <p>□減免についてのマニュアルの作成 (料金設定・支払方法等は、2(1)のとおり)</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■計画どおり実施しました。 利用実績1件、申請受付2件</p> <p>■計画どおり実施しました。 利用実績6件</p> <p>□割引プラン運用マニュアルを作成し館内で共有しました。(6月)</p>

(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造

<p>[取組内容]</p> <p>①自主事業収入・利用料金収入の安定的な確保</p> <p>②助成金、寄付金の確実な獲得</p> <p>③協賛金収入の獲得</p> <p>④利用料金収入の安定的な確保</p> <p>⑤貸館における友の会会報へのちらし封入サービス、主催公演パンフレットへのちらしはさみこみサービス等の提供</p> <p>⑥貸館公演におけるチケット作成代行、販売代行サービス等の提供</p> <p>⑦撮影料金の設定</p> <p>⑧オリジナル商品の開発及び販売</p> <p>⑨事業収支の健全性の基準設定及びそれに基づく適切な計画</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□利用料金収入 16,200千円</p> <p>□日本芸術文化振興会等の外部資金獲得 16,185千円</p> <p>■貸館の手引きにより、ちらし封入サービス、チケット作成、販売代行的有料サービスの提供の周知を図ります。</p> <p>■撮影料金を設定します。</p> <p>■オリジナルショップ商品開発を検討します。</p>	<p>□15,742千円 各種割引の導入、有料施設見学会誘致等の努力で昨年度実績(14,395千円)を上回りましたが、音の出る設備工事等で貸出に制限があったこともあり、目標達成に至りませんでした。</p> <p>□文化庁助成金 23,032千円(予定) 20,607千円(決算) 寄附金収入 50千円 協賛金収入 1,675千円</p> <p>■貸館打合せ時に情報提供しています。</p> <p>■市と協議を行い(6-8月)、運用を開始しました(9月)。利用実績2件、問合せ2件。</p> <p>■お菓子も含めた新しい商品開発を検討、「鏡板」と競合せず、持ち帰りやすく、利用者からニーズがあると思われる「ぼち袋」の検討を進め</p>
---	--	--

	<p>■限られた経営資源を適切に配分するとともに外部資金を積極的に導入することで経営を安定化し、施設で収支バランスをとれる状態とします。</p>	<p>ました。(再掲)</p> <p>■経費節減をはかるとともに、助成金、協賛金獲得等により収支均衡を目指しました。また、来年度の協賛金獲得のための協賛メニューを協議しました(11-12月)。</p>
--	--	--

(3) 経費削減等効率的運営の努力

<p>[目指す成果]</p> <p>業務の基準に従い、効率的な運営と経費削減を目指します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>業務の基準に従い、効率的な運営と経費削減をはかるように努めました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①発注・事務処理、施設・設備管理等の留意による経費削減等効率的運営の努力</p> <p>②適切な人材配置及び超過勤務の削減及び職員のワークライフバランスを図ること等による人件費削減の努力</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ちらし作成枚数の精査、不要不急の支出の抑制を行います。</p> <p>■業務の効率化に努め、超勤時間のコントロールを行います。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■公演ごとの部数を精査して作成しました。支出についても案件ごとに必要性を検討し抑制に努めました。</p> <p>■16.5時間/月</p>

5 P D C Aサイクルの確実な運用

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日報及び月間業務報告書の作成・管理 ・業務計画書及び業務報告書の作成・管理 ・業務評価(モニタリング、自己評価、第三者による評価の実施) 	<p>[達成指標]</p> <p>■遺漏ない作成を行います。</p> <p>■遅滞なく業務評価を実施します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■遺漏なく作成しました。</p> <p>■遅滞なく業務評価を実施しました。</p>
---	--	---

6 留意事項

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険及び損害賠償の取扱い ・関係法令等の遵守 ・市及び関係機関等との連絡調整 ・近隣対策の実施 ・その他 	<p>[達成指標]</p> <p>■関係法令等を遵守します。</p> <p>■業務の基準に従って適切に行います。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■関係法令等を遵守し運営しました。</p> <p>■業務の基準に従って適切に行いました。</p>
---	--	--

横浜能楽堂 平成30年度事業実績一覧

No.	実施時期	主催・共催・協力等	事業名	会場	予定参加者・入場者(人)	実施予定回数(回)	実績参加者・入場者(人)	実績回数(回)	予算			決算			差引
									収入	支出	収支差額	収入	支出	収支差額	
1	通年	主催	普及公演「横浜狂言堂」全12回	横浜能楽堂 本舞台	5,244	12	5,363	12							
2	12月26日	主催	普及公演「眠くならずに楽しめる能の名曲」	横浜能楽堂 本舞台	388	1	458	1	17,375,000	14,637,000	2,738,000	17,321,893	13,965,406	3,356,487	618,487
3	3月17日	主催	普及公演「バリアフリー能」	横浜能楽堂 本舞台	244	1	290	1							
4	8月11日	主催	講座「人間国宝・山本東次郎先生の狂言の時間」	横浜能楽堂 本舞台	388	1	462	1							
5	8月11日	主催	特別講座「先生のための狂言講座」	横浜能楽堂 本舞台	30	1	76	1							
6	8月7日-9日	主催	子ども狂言ワークショップ 入門編	横浜能楽堂 第二舞台	20	3	26	3							
7	1月-3月	主催	子ども狂言ワークショップ 卒業編	横浜能楽堂 第二舞台	5	10	5	10	4,917,000	6,810,000	-1,893,000	5,066,076	6,109,549	-1,043,473	849,527
8	3月31日	主催	横浜子ども狂言会	横浜能楽堂 本舞台	100	1	1	150							
9	4月-7月	主催	初めての能楽教室	横浜能楽堂 楽屋・本舞台・第二舞台	36	30	36	30							
10	6月-1月	共催	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム(全5校)	市内学校	300	5		5							
11	9月-3月	主催	企画公演「風雅と無常-修羅能の世界」第1回~第6回&講座1回	横浜能楽堂 本舞台	1,940	5	2,494	7							
12	6月-9月	主催	特別企画公演「花開く伝統-日台の名作と新作-」全2回(他台湾公演6回)	横浜能楽堂 本舞台	628	2	731	2	21,080,000	19,297,000	1,783,000	44,849,148	46,973,134	-2,123,986	-3,906,986
13	2月9日	共催	横浜能楽堂・伝統相踏保存会提携公演「能の五番 朝薫の五番」第5回	横浜能楽堂 本舞台	388	1	459	1							
14	6月2日	共催	第66回横浜能	横浜能楽堂 本舞台	388	1	469	1	2,985,000	3,030,000	-45,000	2,724,371	2,819,072	-94,701	-49,701
15	11月24日	共催	第35回かもんやま能	横浜能楽堂 本舞台	388	1	456	1							
16	1月19日-3月23日	主催	特別展「苦悩と風雅 山口兎が描く修羅能の世界」	横浜能楽堂 2階展示廊ほか	3,000	1	8,777	1	100,000	3,603,000	-3,503,000	0	3,117,177	-3,117,177	385,823
17	通年	主催	常設展	横浜能楽堂 2階展示廊	4,500	3	2,866	2							
18	通年	主催	能楽堂プロモーション事業	全館	0	10			374,000	660,000	-286,000	676,240	965,292	-289,052	-3,052
19	通年	主催	動画配信事業	-	1,500	5									
20	通年	主催	能楽堂友の会	-	800	1	735	1	1,630,000	1,028,000	602,000	1,579,760	1,243,421	336,339	-265,661

平成30年度 「横浜能楽堂」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 E= (D-A)	説明
指定管理料	173,000,000		173,000,000	173,000,000	0	横浜市より
利用料金収入	16,200,000		16,200,000	15,742,050	△ 457,950	
自主事業収入	41,286,000		41,286,000	44,570,360	3,284,360	
雑入	43,472,000	0	43,472,000	32,435,539	△ 11,036,461	
自動販売機手数料	188,000		188,000	261,956	73,956	
その他 (コピー代、炭代)	20,000		20,000	260,599	240,599	
その他 (助成金)	28,874,000		28,874,000	20,607,285	△ 8,266,715	
その他 (負担金)	11,340,000		11,340,000	9,455,699	△ 1,884,301	日台公演開催負担金等
その他 (企業協賛金、寄付金)	3,050,000		3,050,000	1,850,000	△ 1,200,000	
収入合計	273,958,000	0	273,958,000	265,747,949	△ 8,210,051	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	90,874,000	0	90,874,000	85,117,577	△ 5,756,423	
給与・賃金	76,637,000		76,637,000	71,444,557	△ 5,192,443	臨時職員17名給与含
社会保険料	8,601,000		8,601,000	8,700,139	99,139	
通勤手当	2,984,000		2,984,000	2,612,682	△ 371,318	
健康診断費	118,000		118,000	146,724	28,724	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	2,534,000		2,534,000	2,213,475	△ 320,525	
事務費	8,145,000	0	8,145,000	7,837,822	△ 307,178	
旅費	840,000		840,000	645,617	△ 194,383	
消耗品費	1,600,000		1,600,000	1,095,434	△ 504,566	
広告宣伝費	1,100,000		1,100,000	803,840	△ 296,160	
印刷製本費	160,000		160,000	122,526	△ 37,474	
通信費	2,400,000		2,400,000	2,148,198	△ 251,802	
使用料及び賃借料	12,000	0	12,000	8,359	△ 3,641	
横浜市への支払分	12,000		12,000	8,359	△ 3,641	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	579,852	579,852	
負担金、会費	31,000		31,000	28,000	△ 3,000	
施設賠償責任保険	100,000		100,000	48,040	△ 51,960	
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	570,000		570,000	423,116	△ 146,884	
リース料	1,148,000		1,148,000	1,334,604	186,604	
手数料	102,000		102,000	431,796	329,796	
雑支出	82,000		82,000	168,440	86,440	
事業費	82,464,000	0	82,464,000	80,833,128	△ 1,630,872	
自主事業費	82,464,000		82,464,000	80,833,128	△ 1,630,872	
管理費	68,900,000	0	68,900,000	67,896,134	△ 1,003,866	
光熱水費	13,600,000	0	13,600,000	14,673,972	1,073,972	
電気料金	8,440,000		8,440,000	9,679,881	1,239,881	
ガス料金	3,480,000		3,480,000	3,538,053	58,053	
水道料金	1,680,000		1,680,000	1,456,038	△ 223,962	
清掃費			0	0	0	設備保全費に含む
修繕費	3,000,000		3,000,000	2,218,079	△ 781,921	
機械警備費	0		0	0	0	設備保全費に含む
設備保全費	52,300,000	0	52,300,000	51,004,083	△ 1,295,917	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	その他保全費に含む
消防設備保守	0		0	0	0	その他保全費に含む
電気設備保守	0		0	0	0	その他保全費に含む
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	その他保全費に含む
駐車場設備保全費	260,000		260,000	259,200	△ 800	
その他保全費	52,040,000		52,040,000	50,744,883	△ 1,295,117	建物総合保守、清掃警備委託、舞台操作委託費を含む
共益費			0	0	0	
公租公課	5,755,000	0	5,755,000	5,311,347	△ 443,653	
事業所税	16,000		16,000	0	△ 16,000	
消費税	5,697,000		5,697,000	5,249,600	△ 447,400	
印紙税	42,000		42,000	42,000	0	
その他 ()			0	19,747	19,747	法人税、電波使用料
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	17,820,000	0	17,820,000	17,820,000	0	
本部分	17,820,000		17,820,000	17,820,000	0	(平成29年度予算額-事務局繰入金)×7%+役員報酬含む
当施設設分			0	0	0	
支出合計	273,958,000	0	273,958,000	264,816,008	△ 9,141,992	
差引	0	0	0	931,941	931,941	★財団職員の人事異動により、予算より2,530,000円職員人件費が減少している分を含んでいる。そのため施設運営の実質的な収支差額は、▲1,598,000円である。